

たでおな業、旬 め0 自家製の有機質肥料を施用

3人一組で45分間のうちに3作品を生け込み、その後、プレゼンテーションを行う。構成力・技術力・表現力など審査員の加点と、出場生徒による相互投票で評価される。優勝校は全国

【仙台市】高校生が生け花で競い合う「花の甲子園」東北地区大会が先月、仙台市青葉区の「せんだいメデアアテーク」で開かれた。一般財団法人池坊華道会が主催。東北6県から12校が参集し、宮城県からは蔵王高等学校と涌谷高等学校が出場した。

「花の甲子園」東北大会
練習の成果を
思いっきり発揮

大会へ出場するほか、今年から観客投票による個人賞が設けられた。

蔵王高校華道部はテーマを「季節の移り変わり」とし、夏の猛暑から秋隣、初



作品を前に蔵王高校華道部の3人

秋に変わる様子を同校のシンボルであるアスナロの枝などを用いて、自分たちの成長と重ねながら表現した。

3年生の石川千尋さんは「納得がいく作品が完成できるよう日々のお稽古に励んできた。練習したことは出された」と話し、2年生の齋藤亜由美さん、1年生の我妻優さんと共に作品が無事仕上げられたことにほっとしていた。

優勝は秋田県立湯沢翔北高等学校が手にし、11月に開かれる全国大会に出場する。
(渡邊)

込み、円)
上場地区
太つば・いわで 古川・みやぎ いしのまき 業振興公社
ぎ登米・南三陸 びな・名取岩 みやぎ巨理
こ・みどりの 仙台
—